



浜松歯科衛生士 専門学校 ☆☆☆ 学校だより



2年生(37期)健康教育実習

2年生に進級するとすぐに2カ月程度の準備期間を設け市内の小学校と幼稚園・こども園で健康教育実習を行います。5~6名で1グループを作り、グループごとにシナリオや媒体を考えて実習を行います。

【小学校】

今年は新型コロナウイルスの感染拡大防止を受けて、休校になったこともあり、ほとんどの小学校で受け入れができなくなってしまいました。

その中で最後まで受け入れの調整をしてくれた3校に対して、ビデオでの健康教育を行うことになりました。画面越しでの発表になりますので、映像としての媒体の見せ方、カメラアングル、声の大きさなど普段とは違う事ばかりで学生たちも戸惑っていました。

ビデオを送った小学校から、視聴していただき「おやつの摂り方、歯の磨き方にとっても興味を持っていました。特に歯の磨き方は、自然に歯ブラシセットを用意して一緒にやっていた」と感想をいただきました。



画面越しになるので媒体が見やすいようにカメラに近づけて撮影した

立つ場所を意識した、ビデオだと反応がないので、早口にならないように気を付けた

目線をカメラに向けたり、反応がないことを見越して、自分たちで掛け声を入れたりした

クイズの時に実際の小学生の声を聞くことができないので、自分たちの声を入れてシーンとしないようにした

【幼稚園・こども園】

3つの園が受け入れてくれました。本来でしたら3日間で6か所に行きますので、学生も2,3回は実習の機会があるのですが、今年は1か所しか行けず初日が最後の実習になりました。また、今年はマスクが外せないため6歳臼歯の確認をしたり、染め出しをしたりすることもできず、それに代わるワークを取り入れるなどの工夫を凝らしました。具体的には、6歳臼歯を折り紙で折ってみたい、プラークの付きやすいところに色を塗らせてみたいなどです。

1回限りの実習と言う事で学生たちも緊張していましたが、実際に園児を目の前にすると反応のよさに次第に笑顔も増え、楽しかった、もっと行きたかった、という声がありました。

初めてづくしの実習になりましたが、精いっぱいやり切ってくれたと思います。来年は通年通りの実習ができることを切に願っています。



2年生 健康教育実習の様子



浜松歯科衛生士
専門学校
学校だより

3年生(36期)浜松市歯科保健実習

5月より、本校3年生の浜松市歯科保健実習が始まりました。

例年、浜松市の健康増進課ならびに各区健康づくり課等が実施する事業を午前、午後に分け、2事業を見学実習させていただいておりました。しかし、今年は新型コロナウイルス感染予防のため、事業を見学させていただくのではなく、各区の歯科衛生士による地域の特性を踏まえた説明を受け、実際に取り組んでいる講話、健康教育を見学させていただきました。その後、学生たちが、その事業の内容に合わせたシナリオや媒体を使って健康教育を演習していくという実習をしています。

プロの歯科衛生士の声のトーンや問の取り方、相手の表情を見ながら言葉を使い分けていく保健指導を見学して、話に引き込まれていったこと、知識の引き出しが多くてびっくりしたことをキラキラした目で報告してく



3年生 浜松市歯科保健実習の様子

自分も聞いている方と同じ立場で話すこと、教えるのではなく、教えてもらうという気持ちで接すると良いと分かった。

ただひたすら自分の知識を話すのではなく相手への問いかけや自分の体験談なども交えながら興味を持ってもらうことが大事だと思った。

市民の方に親身に寄り添うことができる行政での仕事に興味を持ちました。

同じ媒体を使ったのに皆違った演習になり、伝え方ですごく変わるんだと感じた。違うお話みたいに感じられるくらいだった。

対象の方を飽きさせない工夫がすごかった。

言葉一つで聞き手への伝わり方が変わってしまう。大事な言葉はできるだけ覚えてスライドのタイミングに合わせて話したいと思った。

この実習を通して自分らしい患者さんとの関わりができるように今後に生かしたいと思った。

